

日時：2023年9月14日(木) 17:45～19:30

場所：世田谷区宮坂区民センター 2階 大広間

参加者：22名(以下敬称略) 長谷川守、脇本和幸、室伏憲治、古谷一祐、氏家清高、三井大造、中林和雄、横井行男、小川里花、横田幹夫、福田正男、丸山正、横尾俊弘、飯塚義則、飯島雅巳、栗原悦郎、浅井記子、萩原卓、久保雅春、鍛冶健二郎、篠原直樹、石川雄一、

欠席者(事前連絡)：枝澤修、臼井治子、芝原久、宮入芳雄、藤岡眞、立川洋一

議事進行：脇本和幸 書記：浅井記子

## 議 題

(以下敬称略)

### (1) 全体(確認・連絡・報告事項)

#### 1. 森の日報告(長谷川)

##### ① 8/17(木)臨時森の日開催(議題：活動助成金及びFIT運営について)

- ・2023年度田園調布学園土曜プログラム「私たちと森林」講座への助成金申請については、活動支援委員会で審査の結果妥当と判断され、6月「森の日」で決裁されたが、活動支援委員会で審査上の瑕疵(申請案件と関係ある役員が審査に加わっていたこと)と申請書の内容について、複数の会員より疑問が出されたため、この役員を除いて再審査の結果、活動支援助成金として不相当と判断、申請を却下した。これを受け8月臨時「森の日」(運営委員会)にて2023年度の田園調布学園土曜プログラムへの助成金は却下と決裁された。
- ・田園調布学園土曜プログラムの主幹事の方々には“お詫び”のメールを送信済み。

##### ② 9/21(木)臨時森の日開催予定(議題：すみだまつり・こどもまつり活動助成金の件、他)

- ・保留となっている「すみだまつり・こどもまつり」の助成金申請の活動支援委員会の審査結果の審議。
- ・活動支援助成金の今後の在り方を検討する。特別会計(活動支援助成金、その他積立金)に関するプロジェクトチーム(PT)編成の件を協議。

以上、FIT MLにて報告・周知・連絡済み

#### 2. 事業部会HP、MLの現況等について(飯塚)

##### ① 全体

- ・登録者数は前月から変更なく161名
- ・ふれあい事業推進の案内は11月7日(火)実施の「高尾山の寺社林を歩いて四国遍路を体験まで掲載、報告は7月16日実施の「小下沢の溪流ジャブジャブ歩き」まで掲載(前回報告済)。
- ・高尾山GC作戦は榎田さんにより、案内は12月2日第151回まで、報告は9月2日第148回まで掲載済み
- ・外部案件は9月2日実施の田園調布学園土曜講座「ハーブを楽しむ～ハーブの石鹸作り～」と7月28日実施の「小学校教職員向け環境教育研修会「やってみよう！環境学習プログラム」」を掲載。外部案件担当者からの報告の提出が遅い(漏れる)場合がある。
- ・内部活動は8月28日・29日実施の低山はいかい「尾瀬の歴史と自然を訪ねる」を掲載。
- ・HPへのアクセスの状況について：波があり今夏はアクセス数減。

##### ② 事業部会MLのガイドライン作成について：

- ・ML使用については適切な表現を使用、目的を逸脱するものは避ける。個人としての使用目的では使用しない。節度をもつ。ファイル添付は可能だが、事業部会の運営と活動に必要なものとする。ウイルスへの感染と文字化けに注意、他の人に迷惑をかけないように注意する。
- ・長谷川補足：FIT MLにはガイドラインがあるので、事業部会MLでの作成を検討した。

### 【意見】

- ・FIT会員の役に立つ情報が最近少ないことを案じている。本や展覧会などレベルアップにつながるものはいいのでは。常識の範囲内で個人に利するものでなければいい。
- ・「販売促進を目的とするものは不可」の表現を入れてはどうか。
- ・「使ってよかった」「読んでためになった」はいいが、「買ってみてはどうでしょう」の表現はよくない。
- ・「ガイドラインに同意した人」の一文をいれてはどうか。
- ・非常識な内容のものは管理者が削除する。

【結果】本日(9/12)提案のガイドラインを事業部HPにアップロードする。

#### 3. 外部案件について(中林)

##### ① 「外部案件」の名称変更について

ふれあい推進事業に並ぶ「外部案件」は、FIT内部の視点からと思われるが、「外部」の人には何を指しているのか理解しにくい。今後、ひろく一般からのガイド等の依頼を増やしていこうとする場合に名称自体も具体的で直感的、問い合わせを歓迎する表現にすることが望まれる。現担当者としては「講師派遣事業」の可能性を打診したい。

**【意見】**

- ・当初は依頼が少なかったが、その後増えているので名称を変更した方がいい。ふれあい事業を内部と位置づけて、外部案件になったのではないか。
- ・案件一覧は公開していないが、外部案件はFITをPRするための重要な事業。
- ・委託を受けて手伝うので受託事業としたが、HP上では「外部案件」も存在する。受託事業をクリックすると外部案件につながる。
- ・「講師派遣事業」とすると、派遣法に抵触する心配がある。

**【結果】**・「講師派遣」とする。

- ・外部案件一覧表は謝金など機微な情報が含まれるため、これまで通りあくまで部外秘とすることを徹底する。HPへの掲載は、終了案件の報告のみとし、予定表などは掲載しない。また主催者にはHP掲載の旨予め伝えておくこと。後日これらの内容をもりこんだ「講師派遣マニュアル」案を担当者より提出する。
- ・FITHPの変更が必要なので、森の日で説明 ➡ 変更は広報部会長に依頼。

② 学校行事のスタッフへの保険付与について（個人賠償保険 等）（長谷川）

原則は主催者が保険を掛けることになっているが、保険会社が見当たらないとの理由で今年度は七国小学校や第三小学校がFITスタッフへの保険付与が出来ない状況にある。今年度は緊急対応として参加するFITスタッフが自ら保険を掛ける事にしたい。CONE保険は学校行事を対象としていない。利用可能な保険として、アウトドア用品の会社扱いのものや山岳保険がある。今後事業部会で話し合う必要があるので今後の継続審議としたい。

4. 高尾山GC作戦における保険対象事例について（9/15 FIT MLで報告済）（榎田）（長谷川）

9/2に実施した「高尾山GREEN CLEAN作戦」蛇滝～吊り橋コースで、参加者が転倒して負傷する事故が発生、浄心門から4号路に入って5分位の登山道で出っ張っていた木の根に躓いて転倒、とっさに地面についた左手の手首を負傷した。痛みがあるとのことで班長が安全スタッフに連絡し、安全スタッフが同行してケーブルカーで下山。休日診療している医療機関を探して診察・手当を行う。全治3週間の骨折。夜、幹事が電話で、無事に帰宅した事、患部の具合、負傷した時の状況を確認。直接的原因は登山道に出っ張っている木の根に躓いたこと。間接的原因は蒸し暑い天候のなかで、蛇滝口からの1時間ほどの急登で疲れ、足があがらなくなっていた。また蛇滝からの急斜面で緊張する登りが終わりホッとして足元への注意が疎かになったと推定される。再発防止策として先頭の班長が注意喚起の声をかけ、後方の参加者を確認することを徹底する。

**【意見】**

- ・4号路は狭いとの認識を持っている。安全スタッフの増員を検討してはどうか。
- ・小学生とのすれ違いの影響はなかったのか。➡ 転倒した個所付近でのすれ違いはなかった。
- ・班長以外からの説明があると班のまとまりが乱れやすいので、午前中は観察会として班長の説明を主として実施してほしい。

**【報告】**後日、事故報告書を事業部会HPに掲載予定。

(2) 各担当の報告等について

1. 森林ふれあい推進事業

1) 体験参加者の応募状況について（脇本）

- ・9/19「大垂水峠から～秋の花を探そう爽やかハイキング」に体験参加予定の1名はアシストとしての参加に変更。今後の体験参加はメールにて募集の予定。

(予定)

1) 大垂水峠から～秋の花を探そう爽やかハイキング 2023. 9. 19 (久保)

- ・53名応募、40名当選、キャンセルによる繰り上げ作業中。9/12下見の結果、開会式の場所を高尾山口駅先の小公園から高尾山口駅近くの三角スペースに変更（小公園工事中のため）、ルートをお花道からもみじ台の北側の巻き道に変更（お花道の植物が暑さのため、花・果実が少なく、より多くの花を楽しめる。より安全で、時間短縮にもなる）、解散場所を十一丁目茶屋先の展望台休憩場所とする。

**【意見】**・参加者に変更の連絡をした方がいい。

- ・大きい変更ではない、予定はあくまでも予定、開会式で伝える
- ・次年度からチラシに「コースが変わることがある」旨の一文を加える。

**【結果】**・9/15参加予定者にメールでコース変更を連絡。

・9/15 事業部副部長よりコースの一部変更（お花道→もみじ台北側巻き道）について、森林ふれあいセンターの瀬崎さんに電話で説明、イベントのプログラム自体が変わる訳ではなく、安全を考慮しての変更なので、全く問題はないとのご意見をいただいた。

- 2) 高尾山の隠れた魅力、林道歩きを楽しむ 2023. 10. 13 (古谷)  
・応募 11 名、昨年度の参加者に案内メールを送信。広報はこれからの予定。
- 3) 高尾山 秋の親子自然観察会 2023. 10. 22 (氏家)  
・応募 30 名（未就学児 1 名を含み父親が同伴予定、初夏のリピーターが 5 組。6 班体制、9/13 朝日新聞マリオンに掲載。
- 4) 高尾山の寺社林を歩いて四国遍路を体感～八十八大師・空海像巡り～ 2023. 11. 7 (横井)  
・応募 7 名、体験参加を予定していた 1 名がキャンセル、改めてメールにて募集。体験参加はコースを歩いて安全面について考え、八十八大師を巡るいい機会と考える。
- 5) 晩秋の高尾山 色づいた木々やムササビの飛翔を観察するハイキング 2023. 11. 18 (鍛冶)  
・昨年度からの変更点：定員を 20 名に、3 班体制、下山は歩いて夜景を楽しむナイトハイクとする。19 時ケーブルカー清滝駅着、19:20 解散  
・チラシの日付記載ミス、募集人数の未記載 ➡ 修正版を後日送付
- 6) もう一つの高尾・南高尾山稜を訪ねる 2023. 11. 22 (篠原)  
・開催時期を昨年の 12 月から 11 月に変更、コースは変更なし、今後班長募集の予定。
- 7) 奥高尾 初冬の眺望を楽しむハイキング 2023. 12. 5 (脇本)  
・副幹事は石川さん。コースは変更なし。

## 2. 田園調布学園土曜プログラム (小川)

- (実績) 9月 2日 (土) ハーブを楽しむ～ハーブの石鹸作り～ 主幹事：臼井  
・参加者 19 名 (中・高) レクチャーのあとムクロジで泡立て、石鹸づくり、好評だった。
- 9月 9日 (土) 草木染の糸でミサンガ作り 主幹事：福田  
・参加者 18 名 (中・高)、欠席 3 名、斜め編みと平編みを体験
- (予定) 10月 28日 (土) 初めての草木染めに挑戦 主幹事：高須賀  
9月 24日 (日) “なでしこ祭”に参加 (ミニ講座)  
①世界の不思議な実とタネ 主幹事：深串 ②草笛教室 主幹事：戸村

## 3. クラフト等イベント担当 (丸山・枝澤)

- (予定) 9月 30日 (土)、10月 1日 (日) すみだまつり・こどもまつり 主幹事：丸山  
活動助成金申請 (150,000 円) の件 ➡ 申請済み  
参加者：延べ 57 人、クラフト：7 種類/担当者に依頼済み  
・活動助成金が支給された場合、7 名分が不足するので事業部会からの支出をお願いしたい。  
・材料提供 (者) には、3,000 円/1 アイテムが予算計上されている。

## 4. 高尾山 G C 作戦 (楨田)

- (実績) 9月 2日 (土) 第 148 回 蛇滝～吊り橋コース 集合：J R 高尾駅北口 8 時 20 分～  
・参加者 39 名 (一般 32 名、FIT 7 名) 6 班体制
- (予定) 10月 7日 (土) 第 149 回 カツラ林コース 集合：森林ふれあい推進センター 8 時 30 分～  
・高尾森林ふれあい推進センター～病院道～2 号路～3 号路～5 号路～もみじ台(昼食)～高尾山頂～1 号路/稲荷山～高尾山口、3 号路での滑落に注意する。

## 5. 低山はいかい (福田)

- (実績) 8月 28日 (月)、29日 (火) 尾瀬の自然と歴史を訪ねて 主幹事：飯塚  
・参加者 15 名 (スタッフ含む)、天気にも恵まれ景色が良かった。木道が濡れていて滑りやすかったが、全員無事下山できた。
- (予定) 9月 27日 (水) 両国から深川への下町歩き 主幹事：丸山  
・応募 16 名 (スタッフ含む)、申し込み受付中。

## 6. 外部案件 (中林) 別紙参照

- (予定) 10月 2日 (月) 八王子市立七国小学校・高尾山登山 (生徒 158 人) 主幹事：吉原  
・下見は 2 回に分けて実施、スタッフ保険 (個人賠償保険等) は各自で掛ける。

## 7. 会計報告 別紙参照 (室伏)

- ・8 月はふれあい事業はなく収入はゼロ、
- ・支出は会議費 (6 月と 7 月部会使用) ¥2,220- ・残高 ¥306,206-

## (3) その他

- ・仕事のため平日のイベントに参加できないが、いずれか参加できる日がくることを望んでいる (横尾)